

## シティタワー神戸三ノ宮 現場見学会

兵庫県建築士事務所協会神戸支部は7月19日(木)に神戸市最高層として話題となっているシティタワー神戸三ノ宮の現場見学会を行いました。この見学会の案内を配布し申し込みを開始してから三日で定員締め切りとなったことから、この事業にとってもたくさんの方が関心を持っておられることが伺えます。参加者は27名でした。構造規模は地上54階、建物高さ190mとなっておりますが、ほぼ躯体工事は終了しており、現工程は屋上へリポートの作成段階となっております。竣工の来年2月に向け、いよいよ大詰めになってきておりますが、忙しい中、時間をとって見学会の申し出を受け入れてくださった大林組の皆様本当に感謝しております。

見学に先立って、建物概要についての説明を受けました。住戸が640戸、併設して設けられるホテルは185室であることなど、やはり桁違いのスケールであることを実感しました。構造的には100N/mm<sup>2</sup>のコンクリート、鉄筋はJIS規格超えの590N/mm<sup>2</sup>を採用、地下部分では免震層が設けられています。基礎底はGL-15m程度ですが砂礫土以外に粘性土が含まれていたことから、GL-21mまで掘削し、土質の置換を行なわれたそうです。地域の防災拠点にも指定されており、十分な安全性の確保するために最大限の力を注がれた事をお聞きできました。説明の後、工事用リフトに乗り、屋上まで登りました。



屋上からは市役所やミント神戸といった高層ビルをはるか下に見下ろして見ました。六甲山から見る眺めと違い、真下に高層ビルを見る風景は、まさに

圧巻でした。見学日は非常に暑い日でしたが、地上190mともなると空気が違い、暑さを感じる事はありませんでした。一度住んでみたいとも思いました。



建物中央部には大きな吹き抜けが設けられています。設備スペースとしての利用が計画されており、維持管理が非常にしやすい形状となっております。各階の廊下はこの吹き抜けには開放されておらず、中廊下の形式となっていました。

最上階から階段で降りながら建物内部を見学させていただきましたが、当然のことながら下層に行くほど工程が進められており、床配管、断熱工事、内装下地、仕上工事など各工程ごとに様子を見ることができました。リフトに再度乗って地下まで行き、免震層の状況も見学させていただきました。



最後に商業施設棟に移動し、ホテルや店舗のエリアも見学させていただきました。ここが大勢の人でにぎわうようになると考えると完成が本当に楽しみでした。大変有意義な見学会でしたので、次回もまた良い計画ができればと思っております。

事務所協会神戸支部研修部 吉田多雄